

コンサート歌詞

1 日本組曲(783) ピアノ曲

2 Terra del sogno (485)

(Romanza missionaria)(9/10/1947 イタリアにて)

Terra del fior di loto
Terra del Fujiyama
lontano v'è chi t'ama
chi a te anela ognor!

Fanciullo m'ha incantato
il tuo fiammante sole
le tue ridenti aiuole
i tuoi ciliegi in fior

A te m'attraggon forte
voci in strani suoni
volti invitanti e buoni
stampati nel mio cuor

訳詞

夢の国

蓮華の花の地
富士山の地
あなたに憧れる人がいる！
子供の時私は魅惑された
その明るい太陽
ほほえむその花壇
咲くその桜に。
私は強く引かれる
その神秘的な音楽に
善良で親切な人々の顔に。
それらは私の心に刻まれている。

3 Ave Maria (977)

われ小さき鐘なれど 清くなりて人につげん
アヴェマリア

われは森の鳥なれど 心こめて誉めたたえん
アヴェマリア

4 Ave Maria(949)

めでたし聖寵満ちみてるマリア
主汝ともまします
汝は女のうちにて祝せらる
また御胎の御子イエズス祝せられたもう
天主の御母聖マリア 罪人なる我らのために
今も臨終の時も祈りたまえ
めでたし聖寵満ちみてるマリア
マリア マリア アーメン

5 聖テレジアの伝 (599)

(1928年作曲 作詞 三木露風氏)

いと輝かしき聖女よ
この地の上に御身の
徳と生涯歌わん
しかして徳に倣いつつ
主イエズスキリスト様を
いやましになおいと熱く
我らは愛しまつらん

(折返し)

試しと喜びの中に
主の御旨に常にかなう
純真なる子供にて
あられたる御身なにとぞ
愛の山路をたどらせてよ
心柔和謙遜なる
者とならせてたまえかし

主は限りなき愛により
御身を選びたまわりぬ
御身はそれを悟られて
御身の御霊は感動し
いと愛深く熱くして
いと尊き天主様の
御愛に従われたり
(折返し)

6 テレジアの伝 (561)

(1928年作曲 作詞 三木露風氏)

御身の祭壇の下に
小さき女王のきみよ
我ら喜びかけゆかん
御身の天国における
み栄えに心奪われ
われらは労苦も恐れも
それらを忘れはつるなり

(折返し)

愛らしき聖女の君よ
優しくしてその心の
謙遜なる聖テレジアよ
我らの憂い悲しみを
願わくは追いやりたまえ
主に近づきまつるために

幼き頃より御身は
主の御愛のみを望み
その御心を奪われ
居られてありたまいたりき
われらの主はその無邪気を
日ごとに愛し好まれき
日ごとに愛し好まれき
(折返し)

7 愛の山路(598)

(1928年作曲 作詞 三木露風氏)

天国に ああ 導きたまえ
おお いと輝かしき聖女よ
御身の道は光輝き
もろびとの心を奪うなり

(折返し)

天国に優しかる御身の
道をたどりて ああわれらをば
光充ち満ちてる天国にと
聖テレジアよ 導きたまえ

わが主イエズスは言いたまえり
「天国は幼子のため」と
御身の模範によりてこそは
主のみことばは行われた
(折返し)

8 小さき花よ(583)

(1928年作曲 作詞 三木露風氏)

おおせたまえやテレジアよ
御身の柔和謙遜と
質朴なりし一生が
天にまします御父の
御心に合うそのゆえを

(折返し)

うるわしきたま 小さき花
我らは呼ばれ我が友と
我がはらからと

みあるじの御手に身をゆだね
主のお喜び お望みを
訪ねさととりて小さくなり
全能の主の御旨にぞ
御母のごとくかなわれぬ
(折返し)

9 わしらのおやじ(743) (1944年頃)

わしらのボンおやじ おやじよ
白髪はえたど こころはまだ若い
そうだ そうだ 若い
ララララ ララララ ララララ ララララ
エヴィヴァ エヴィヴィ ドン ヴィンチェ
ンツォ チマッティ

われらの よか おやじ
かた足 ちんばでも マルコポーロ
そうだ そうだ かなわん ハッ!
ララララ ララララ ララララ ララララ
エヴィヴァ エヴィヴィ ドン ヴィンチェ
ンツォ チマッティ

10 奥さん(729)

グットモーニング グットモーニング
笑っちゃいけない 私は幸せ
昨日も今日も靴みがく
靴みがく 靴磨く ワンダフル!
神と同じほどに私は夫を愛している
私は幸福な奥さん

11 おめでとう(637)

おめでとうございます

12 Dialogo Spirituale(446)

(詩篇 84. 4、雅歌 8. 6)

Passer invenit sibi domum
et turtur nidum ubi ponat pullos suos

Pone me ut signaculum super cor tuum
Invenit quem diligit anima mea

訳詞

靈的對話

すずめが住家を見つけ、
山鳩はひなを育てる巣を見つけた。

私を御心の上の印としなさい
私の魂は愛するものを見つけた。

13 Cecilia Nostra Patrona(286)

Cecilia nostra inclita patrona
di chi pregando e sospirando canta
al nostro accento il sacro crisma dona
col quale a Dio cantò l'alma tua santa
Cecilia nostra, aiuta i figli tuoi
vieni a cantar con noi

Quando del sole il fulgido splendore
di gioia innonda l'universo intero

e l'alma invita al canto dell'amore
al Figlio, luce dell'Eterno Vero
Cecilia nostra aiuta i figli tuoi
vieni a cantar con noi

訳詞

聖セシリアへ

セシリアよ、偉大なるわが守護者よ
祈り嘆きながら歌う
私たちの声に聖なる潤いを与え、
あなたの魂が神に歌った時のように。
わがセシリアよ、あなたの子らを助け
一緒に歌ってください。
太陽の輝く光線が
全世界を喜びで満たすとき、
また魂を愛の歌へと招き
永遠の真理である御子へと招くとき、
わがセシリアよ、あなたの子らを助け
一緒に歌ってください。

14 Adoro te devote(64)

Adoro te devote latens deitas
quae sub his figuris vere latitas
Tibi se cor meum totum subicit
quia te contemplans totum deficit.
Amen

訳詞

謹んで礼拝します(御聖体の歌)

隠れておられる神よ、謹んで礼拝します
パンの姿の下に真に隠れておられる神よ
私の心はあなたに屈服し
あなたを観て自分の無を悟ります。
アーメン

15 Dal Mar rosso(498)

(1926年1月2日 日本に向う途中)

Vola barchetta rapida
vola per l'alto mar
vola sull'onda cerulea
fedel al marinar

Vola barchetta rapida
vola per l'alto mar
Vola sicura e placida
ti è propizio il mar

Ave Maria stella del mar
proteggi o Madre Ausiliatrice
sotto il tuo manto i Missionar
Santa Maria stella del mar
Vola leggiera vola sul mar

Spera in Maria Stella del mar
Vola Vola Vola

訳詞

紅海から

小船よ早く跳べ
沖に跳べ
青い波の上に跳べ
船人の指示に従え
小船よ早く跳べ
沖に跳べ
安心して緩やかに跳べ
海は順調だから
アヴェマリア、海の星
扶になるみ母 守りたまえ
マントの下に 宣教師たちを
サンタマリアよ、海の星よ
軽く跳べ 海の上に
海の星 マリアを信頼して
跳べ、跳べ、跳べ

16 Ave Maria di grazia piena(372)

Ave Maria, di grazia piena
il Signore è teco
Tu sei benedetta fra tutte le donne
e benedetto è il frutto del tuo seno Gesù.
Santa Maria, Madre di Dio
prega per noi peccatori
adesso e nell'ora della nostra morte.
Così sia.

17 Cade la neve (464) (作詞 Vincenzo Venturi)

Silenziosa neve,
scendi dal chiuso cielo
come candido velo
denso di fiocchi e lieve,
silenziosa neve.

Quanto candore intorno!
Un manto sterminato!
Il mondo è diventato
degli angeli il soggiorno.
Quanto candore intorno!

Da spazi inviolati
scende alla terra nera
tutta una primavera
di fiori immacolati,
da spazi inviolati.

訳詞

雪が降る

静かな雪よ、
あなたは閉じた空から降ってくる
真っ白いヴェールのように
軽い薄片のように、
静かな雪よ。

周りは真っ白！
限りないマントのようだ！
世界の姿が変わり
天使たちの住まいとなった。
周りは真っ白！

未知の空から
黒い土の上に
春のような
真っ白い花が降りてきた
未知の空から。

18 たたえよ みはは(771) (1944 年戦時
中)

**【第一楽章】 マリアの偉大さ(神のおん
母)**

めでたしや ^{あめ きさき} 天の后よ
^{みあるし} 御主の 使いはこぞり
かぐわしき 声にて称う
^{とことわ} 常永久に ^な 汝が御栄えを
めでたしや いと高き ^{みめぐ} 御恵み充ち満てる
めでたしマリア
汝がともに ^{みかみ} 御神は在しませば
女のうち 汝は祝せらる
^{あめつち} 天地の創り主 ^な 汝が子となりし この栄え
^{ひとなれ} 人汝を幸いと 唱うべし
よるず世に いと高き 御恵み充ち満てる
めでたしマリア めでたしマリア
めでたしマリア

【第二楽章】 マリアの取り次ぎ(海の星)

おお おお 港は^{いずこ}何処
旅路を照らせ 海の星
浮き世の海を 横切りて
天の港へ 我はゆく
誰ぞ照らすや 行く先を
^{みかみ} 御神の御母 ^{みはは} わが手引き
迷える我に 道を指す

我が輝ける 海の星
風は叫びて 海怒り 荒波船を沈めんと
沈む 沈む
マリア マリア ああ！

淵を開けれど マリアこそ 汝望み 海の
星
かぐわしき手を 差し伸べて
狂える波に ^{しず} 鎮まれと
御身 一言さえ 言わば
早や疾く^と帰る 安すけさは

**【第三楽章】 マリアの光栄(わがよきさ
さき)**

人々の後に この優し 御母に
天地にあれかし ^{とことわ} 常永久のみ栄え
人草はこぞりて 声あげて賛たえよ
^{みあるし} 御主のみ母の 比べなき功を
美し かぐわし 我が良き后を 喜び祝わ
ん
美し かぐわし お花を捧げて
我が良き后を 喜び祝わん

子供の心を み母にうち明け
尽きざるわが愛 いざ皆誓わん
美し かぐわし 我が良き后を 喜び祝わ
ん
美し かぐわし お花を捧げて
^{よるずよ} 万世に 我が良き后を 喜び祝わん
心をみ母にうち明けて
子供の心をみ母にうち明け
尽きざるわが愛 いざ皆誓わん

191 Ave Maria

Ave Maria, gratia plena
Alba serena, Mater Iesu
Tu nos respice, sancta Maria
Oh, nostra mater pia, Virgo Maria

訳詞

めでたし恵みあふれるマリア
晴天の夜明け、イエズスの母
聖マリア、見守ってください
敬虔な私達の母、乙女マリア

(プログラム裏参照)